

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

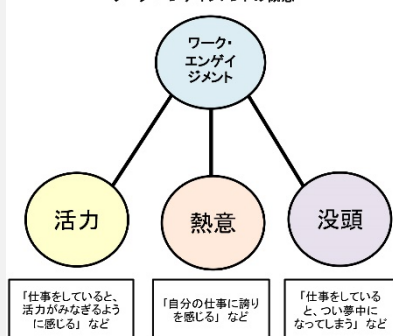
VOL.62 (2021.5.27)

令和3年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
生産性の向上で働き方改革の実現
～和賀組さんで良かったといわれよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

3月の本紙で紹介しましたが、今年度当社は「健康経営優良法人 2021」に認定され、さらに上位の「ブライツ 500」という冠を付加して頂きました。以前にも説明しているとおり健康経営とは経済産業省が所管している制度で、従業員の健康管理をコストではなく戦略的な経営投資として捉える考え方に基づいた経営手法であり、社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目指しています。またブライツ 500 とは中でも特に優良な健康経営を実践している企業・法人を顕彰する制度です。この施策に対する評価項目は 10 数項目に及び、その中にはメンタルヘルス対策として、「メンタルヘルス不調者への対応に関する取り組み」という項目があります。つまり社員の肉体的な健康だけではなく精神的な健康についても会社としてしっかりとケアをする体制になっているかという観点からの評価です。

ワーク・エンゲージメントの概念



先日あるセミナーに参加して「ワークエンゲージメント」という言葉を教わりました。ワークエンゲージメントとは、仕事に対してポジティブかつ充実しているという心理状態であり、活力・熱意・没頭の3つの要素が兼ね備えられた状態とされています。具体的には、「①仕事に対して誇り・やりがいを感じている（熱意）②仕事に熱心に取り組んでいる（没頭）③仕事から活力を得ている（活力）」という状態で、これらが満たされている状態のことをワークエンゲージメントが満たされている状態と言います。“Engagement”という英語は通常エンゲージリングなどに使われるように婚約というような意味を思い浮かべますが、仕事への従事などという意味があります。

ワークエンゲージメントが高い社員が多い組織は、皆が自信にみなぎりスキルを十分に発揮することから自ずと生産性も向上します。また活き活きと働く姿は同僚や後輩にとって非常に良い刺激となり、連鎖反応のように職場から組織全体へと拡大、意欲的な人材の育ちやすい組織風土として定着します。さらに**ワークエンゲージメント向上によって得られるストレス耐性は予防的効果が含まれる**ため、全社員に対してワークエンゲージメント向上を図ることで戦略的にストレスに強い組織を構築することが可能となり、不調者を未然に防止する企業のメンタルヘルス対策として極めて有効な取り組みと言えます。今年も秋にはメンタルヘルスチェックを行う計画ですが、今年はこのワークエンゲージメント向上にも取り組んで参りたいと思います。

ユニオン建設(株)鎌田支店長来社

5/10 ユニオン建設株式会社盛岡支店鎌田支店長が来社され、令和二年度における工事の協力会社として、安全及び品質の確保に尽力したとして、感謝状を頂きました。コロナ禍で大変な状況が続いてはおりますが、今年度も安全と品質の確保に全力で取り組んで参ります。



施工技術発表会・雄勝協会総会

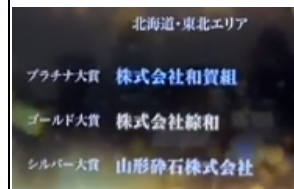


原君が「西小スクールバス車庫建築・外構工事」で最優秀賞を獲得しました。

また 5/18 に開催されました雄勝建設業協会総会において、佐藤総務部長が優良社員として表彰されました。



HySPEED 全国大会



北海道東北エリアではトップ、全国でも3位に入りました。記録的な大雪に見舞われ、除雪や雪下ろし作業で稼働できなかった期間が長かったにもかかわらず、全国三位という成績は胸を張って受賞できる結果だと思います。

5/21 リモートにてハイスピード工法の全